

当社中新田緑地を含む知多半島グリーンベルトが、 環境省「自然共生サイト」の認定を取得

愛知製鋼株式会社(代表取締役社長:後藤尚英)を含む11社と行政、地元大学生、専門家、NPO等が連携して整備している「知多半島グリーンベルト^{※1}」が、この度、環境省より「自然共生サイト^{※2}」の認定を取得しました。これにより知多半島グリーンベルトは、2023年4月の認定制度開始以来、最初の自然共生サイトの一つになりました。

当社は、2012年より、知多半島生態系ネットワーク協議会事業「命をつなぐPROJECT^{※3}」に参画し、社有地の中新田緑地にて「カブトムシのすむ森づくり」事業を通じた、生物多様性保全に取り組んできました。専門家の指導による緑地管理、生きものの生息地の創出・仕組みづくり、社員や学生、地域の方々など多様な主体が参加するモニタリング、緑地整備計画を推進し、地域と連携した自然共生を進めています。

今後も、持続可能な地球環境の実現に向け、各企業や地域の方々との連携を深め、生物多様性の向上や森林育成などをより一層推進し、社会・地球の持続的発展に貢献してまいります。

- ※1 知多半島臨海部に立地する工業地帯で整備されている、幅約100m、長さ約10kmに渡る大規模緑地。
現在は、11社の企業、行政、地元学生、専門家、NPO等が協力して生態系ネットワークの形成に取り組んでいる
- ※2 「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域。2023年度より認定制度を開始
- ※3 愛知県の知多半島臨海部等に点在する企業緑地や公共緑地を繋ぐことによって、生物多様性の向上と生態系ネットワークの形成を目指すプロジェクト。
企業としては、東レ株式会社、愛知製鋼株式会社、日本製鉄株式会社、大同特殊鋼株式会社、オートリブ株式会社、株式会社LIXIL、出光興産株式会社、株式会社JERA、知多エル・エヌ・ジー株式会社、東邦ガス株式会社、株式会社豊田自動織機 の11社が連携している。



当社社有地の中新田緑地